

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- | | | |
|---------------------|------------------------|---------------------|
| □0～100歳の地域包括ケア・・・1P | □地域支え合い体制づくり事業・・・2P | □SL現場見学バスツアー……………3P |
| □だいこんの花新施設OPEN・・・2P | □「健康サロンあゆみ」OPEN……………2P | □さぼちた新人紹介……………3P |
| | □雲南サテライトゼミ……………3P | □インフォメーション……………4P |

0～100歳の(ちた型)地域包括ケア

代表理事 岡本一美



3月8日、NPO法人りんりんのスタッフ研修。年代別グループワークで30代以下チームが「望むこと」を語り合った。

1月から3月まで、本法人の中長期を考える5回の理事ワークショップを行いました。他府県に比べ、経済的に豊かであり、90年代からの市民活動の基盤が、助け合いサービスをはぐくんできた知多

地域ですが、各団体も代表交代、後継者育成、地縁との連携、まちづくりへの展開など課題を抱え、さらには介護保険改正と、法人運営の変革を迫られています。

NPO法人起業支援ネット副代表の鈴木直也さんのご助力により、現状把握と未来予測の手順で、2025年までに「0～100歳の地域包括ケア」実現を目標とする中長期計画案をまとめました。

26年度は、地域資源の見える化を図るための調査とまちづくりの方向性を共有する広域円卓会議(日本福祉大学共催)、半田市・東浦町での連続円卓会議を行っていく予定です。

半田市では、愛知県が実施する4つの地域包括ケアモデル事業のうち、認知症対応モデルの実施が決まっており、相乗効果があるよう取り組みを進めていく所存です。地域福祉計画が策定される東浦町では、障がい、子ども、若者など全世代対象、孤立化の防止につながるよう、進めます。

中長期計画案は26年度総会で報告、会員の皆さ

まから広くご意見をいただき、今後に反映させたいと思います。

総会後には、藤沢市で総工費5億円の複合型福祉マンションを融資と住民出資により建設した、認定NPO法人ぐるーぷ藤の鷺尾公子理事長に、私たち市民やNPOが元気になる話を語っていただきます。総会と合わせてご参加ください。

☆会員交流講演会☆

「介護保険改正と地域支えあいセンター ～市民によるまちづくり～」



5月28日(水)

15:00～17:00

知多市市民活動センター
2階会議室

認定NPO法人ぐるーぷ藤 理事長鷺尾公子さん
会員無料。会員外も資料代300円でご参加いただけます。同封チラシでお申込み下さい。

平成26年度通常総会

同日、同会場で13:30から開催します。

- 議案 ① 平成25年度事業報告・収支決算
② 平成26年度役員選任

■だいこんの花新施設 「すずしろの花」「だいこんの家」OPEN



午後から近隣住民の方々へのお披露目として「餅投げ」が行われた。

満開の桜が咲く4月5日(土)、6日(日)に、だいこんの花新施設の開所式が行われた。知多市長をはじめ

知多市の福祉関係者、NPO法人あいち福祉ネット理事、サポートちたの会員団体等大勢の参列者から、お祝いと応援メッセージで祝福された。

だいこんの花は、平成18年に古民家で訪問介護・通所介護・たすけあい事業を始め、常に利用者の声に耳を傾けニーズに応え続け、このほど念願の、住み慣れた家を終の棲家とするための、24時間対応小規模多機能型居宅介護サービスを1階に、サービス付き高齢者住宅が2階にある、複合型サービス拠点を立ち上げた。2階の住宅は満床、小規模多機能サービスの利用者も6割と、住民の期待が高い。

閉式後は中庭で知的障がい者の和太鼓サークル「楽打」の演技と、職員による餅つきが披露され、和やかな会食の席が設けられた。

老夫婦から孫連れに家族まで近隣住民が訪れ、2日間で約270人が見学した。(五十嵐)

■地域支え合い体制づくり事業 ～フードバンク連携によるコミュニティカフェ立ち上げ促進事業～

目指せ「南粕谷ハウス」を合言葉に、知多市では、地域内の見守りを充実させるためにサロン活動を応援、顔の見える関係づくりを推進している。

しかし、地域密着で活動されるふれあい・いきいきサロンの現状は、月に1から数回開催のため、地域を支えあう日常の見守り機能までは難しい。そこで、食事の提供や常設化にむけての意識や課題についてヒアリング



調査を実施した。昨年度ゆいの会が調査した地域の居場所29団体(抜粋)からは、活動を広げたくても場所の

「人と食」をつなぐ地域資源情報誌「シェフのこだわり」と「サロンのこれから」

確保やスタッフの高齢化、また利用者の送迎が必要になってきた等の課題が見えてきた。この結果をもとに「人と食」をつなぐ地域資源情報誌「シェフのこだわり」と「サロンのこれから」を報告書としてまとめた。内容は、54人、23団体(25年3月末時点)が登録するAda-codaと昨年9月スタートしたフードバンクの紹介が中心。

また、3月22日にセカンドハーベスト名古屋の本岡氏、山内氏による説明会とコミュニティカフェメニュー・コンペティションを開催、NPO19人、ファミリーホーム2人、常滑市社協2人、市内サロン11人、一般9人計43人が参加した。フードバンクを活用したクイックメニューを公募、再現した15レシピを参加者らが試食し「サロンで使えるで賞」と「ベストオブフードバンク賞」を選び、歓談しつつ交流を深めた。

事後、活動半年を経過したフードバンクプロジェクトについて意見交換を行ったが、参加したNPOは4団体と少なく、拠点の常滑市社協からは目的を問い直し、継続するか否かの必要性を問われている。(市野)

■3月25日「健康サロンあゆみ」OPEN

知多市つつじが丘地区の民家を会場に「健康サロンあゆみ」がオープンした。ここでは、週2回火・木曜の午前中にNPO法人あゆみが運営する。



高橋さんの2階が新拠点！歩いて通えるサロンです。

平成17年知多市との協働で、スマイル体操の開発と普及啓発事業に取り組む「あゆみ」は、訪問介護事業と、週1回のいきいきサロン運営の傍らでスマイル体操の普及活動に努め、最近では市内3か所で体操教室を開いている。

26年度は、さらに介護予防事業を強化する新たな事業展開として、体操を高年齢者対象の優しい内容に修正し、週1回のいきいきサロンも体操中心のプログラムに変更、他の教室も加えると週4日以上市内で健康体操を実践、あゆみは健康づくりに特化したサロン運営に方向転換する。

25日の開所式は、家主を始めとするつつじが丘地区の協力者、知多市福祉課、社会福祉協議会、NPO関係者、近隣住民など多様な関係者が参列し、これから地域に根差したサロンを目指す、幸先の良いセレモニーとなった。(五十嵐)

■雲南サテライトゼミ @東海市



年2回（5月・10月）開催される「小規模多機能自治を考える雲南の集い」に話が弾んだ。

3月14日（金）島根県雲南市地域振興課の石田さんを迎えてのサテライトゼミが東海市立市民活動センターにて開催、三重、愛知両県のNPO担当、東海、半田、

知多の3市NPO担当とセンター担当の計11名が集い、各エリアで実践している地域円卓会議の効果と課題について語り合った。

雲南市では、住民自治を進める際に、多様なエリアの円卓会議を活用しているが、そもそも円卓会議とは、課題解決のために地域を構成する多様な人たちが知恵出しの場として対話する有効な手段のひとつである一方で、継続と実践や場の進行など人材確保の課題も残る。実践を目的とすれば、身近な問題が周知されやすい町内会単位が理想ではないかと検討された。

また、未来の視点で対話を継続するフューチャーセンターのような場がない場合、数回の会議で実践計画を立て実行伴走することは難しい。対話より生まれたアイデアや人のつながりを各組織へ持ち帰り対策を練ることを前提にするならば、市は場を設置するきっかけづくりでよいか、県域の場合、取り組むべき課題や政策に市民がどれだけ参画できるか等、今後の検討課題も残した。（市野）

■サービ斯拉ーニング NPO現場見学バスツアー

3月24、25日に例年通りサービ斯拉ーニングのバスツアーが開催された。両日計6台のバスが稼働、学生139名がそれぞれ2団体を見学した。今年度は現場での振り返りを行ったことで、学生はしっかりと現場の状況を把握することができた。また、学生の感想や気づきに対し、法人スタッフがその場で対応することができた。

学生も「NPO」という言葉は知っているが、実際に訪問することで、法人によって違いがあり、活動にも様々な分野があること、立ち上げた人の想いや人との繋がりの大切さ、地域の課題など、たくさんの事に気づくことができた。「NPOに対して興味を沸いた」「地域福祉をもっとよくしたい」「現場で体験したい」等の感想があり、この1年を通じて学生がどんな体験をし、どんな学びを深めてくれるか楽しみだ。（竹内）

☆よろしくお祈いします！☆



今年4月より常勤職員としてサポートちたで働く、新保祥代（しんぼさちよ）と申します。本法人で大学3年から約1年間アルバイト、3月に日本福祉大学社会福祉学部を卒業しました。主な担当はNPO現場見

学バスツアーと、サポートニュースですが、「0～100歳の地域包括ケア」円卓会議も担当いたします。

大学生生活を振り返り思うことは、もっと早く大学の外に出て、より多くの人との関わりを持つことで、講義だけでは学ぶことのできない、地域の方やNPOで福祉のまちづくりに励んでおられる方とのつながりをつくり、学びを深めて行きたかったということです。このような経験もあって、学生や若い世代の方が地域とつながること、何かをやりたい！という若い世代の方や、大学の外で学んでみたいという学生、学生の学びが4年間の講義だけで終わる事のないよう、応援していきたいと思っています。

また、同年代で知多半島のNPOで働き始めた方、市民活動に励んでおられる方とのつながりの輪を広げてきたいと思っておりますので、よろしくお祈いいたします。

会費納入のお願い

(N)地域福祉サポートちたにご支援、ご協力頂きありがとうございます。26年度も引き続きご支援いただきませうお願い申し上げます。なお、振込用紙を同封させていただきますので、ご利用ください。

- 正会員／(団体) 15,000円 (個人) 5,000円
- 準会員／(団体) 5,000円 (個人) 3,000円

..*.*☆..*°..☆:*.*:*°..☆..*°☆:*.*.*

新会員紹介 ☆ご入会ありがとうございます☆

- 【正会員/個人】 日比野 徳男 様
- 【準会員/団体】 NPO法人オレンジ 様

☆.*.*°..*.*☆..*°..☆:*.*.*.*°..*°..☆

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■助成プログラム 住友生命健康財団

コミュニティスポーツによる健やかなひと・社会づくりに向けた調査や研究への取り組みを助成、および実践への取り組みを助成する。

〈応募期間〉5月1日(木)～5月15日(木) 必着

〈助成期間〉2014/10/1(水)～2015/9/30(水)

〈問合せ〉公益財団法人住友生命健康財団

☎ 06-6947-3140 FAX 06-6947-3142

■組織基盤の強化応援 Panasonic助成

第三者の多様で客観的な視点を取り入れて実施する組織運営上の課題解決のための取り組みを応援する。

〈助成対象〉環境分野、子ども分野

〈応募期間〉7月16日(水)～7月31日(木) 必着

〈助成期間〉2015/1/1(木)～2015/12/31(木)

〈問合せ〉パナソニック株式会社 CSR・社会文化グループ

☎ 03-3574-5665

<http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf>

■成年後見サポーター研修講座 @武豊町

認知症の高齢者、また知的障害や精神障害で判断能力が不十分な方々の権利や財産を守るための成年後見制度。制度活用のための6回講座を開催。

〈日時〉6月13日より毎週金曜日(最終:7月18日)

13時半～16時

〈会場〉武豊町中央公民館2階 視聴覚室

〈受講料〉1,000円(全6回分資料代)

〈申込問合せ〉(N)知多地域成年後見センター知多事務所

☎ 0562-39-2663 ※5/12～申込み開始

■スタッフ募集！ 詳細等は各団体連絡先まで

すずしろの花 だいこんの花旭南 知多市旭南1-22-1

☎ 0569-47-8080(荒木)

東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛 東海市養父町荻宿31-1

☎ 0562-36-0085(山川)

■福祉人材育成研修 @大府市

介護職員初任者研修 5/13～ 受講料 74,520円

(テキスト・税込)

同行援護従業者(一般課程) 6/25～ } セット受講

全身性障がい者移動介護研修 6/26～ } 30,000円

同行援護従業者(応用課程) 7/8～ 受講料 15,000円

精神障がいホームヘルパー研修 6/7～ 受講料 20,000円

〈問合せ〉(N)ネットワーク大府 ☎0562-44-3735(事務局)

■サポートちた 福祉人材育成研修

介護職員初任者研修 受講料70,000円

〈会場〉(N)りんりん他 5/10～8/24

喀痰吸引等研修(第3号研修) ※受講料は問合せください

〈会場〉知多市市民活動センター 7/10、20

〈担当〉竹内

行動援護従業者養成研修講座 受講料 20,000円

〈会場〉社会福祉会館ウイズ豊川: 6/21、28、29

〈会場〉一宮療育サポートプラザ: 6/15、7/6、13

〈担当〉山森

■「0～100歳の地域包括ケア」円卓会議

地域包括ケアシステムの構築に向けた関係機関との円卓会議オブザーバー参加者30名募集(先着順)

〈日時〉5/30(金)13時半～16時半(13時受付開始)

〈会場〉日本福祉大学美浜校 コミュニティーセンター 3階

〈参加費〉無料

〈担当〉新保または市野

■会員交流講演会「介護保険改正と地域支えあいセンター」～市民によるまちづくり～

認定 NPO 法人ぐるーぶ藤(神奈川県藤沢市)理事長 鷲尾公子さんによる講演会、および意見交換会

〈日時〉5/28(水)15時～17時

〈会場〉知多市市民活動センター2階会議室

〈参加費〉無料(非会員は資料代として300円)

〈担当〉市野

NPO現場見学ツアー

【テーマ: NPOってなあに?】7月17日(木)



9:30集合～16:00帰着

参加費: 5,200円

※見学と座学など、目的に合わせたオプション研修を組んでみませんか?
ご相談は無料です(担当:新保)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743